



CSV Report 2021

2021年6月

株式会社 セゾン情報システムズ

CSV Report 2021 について

- CSV《Creating Shared Value/共有価値創造》とは、企業の経済利益活動と社会的価値創出(=社会課題の解決)を両立させることが重要であるという考え方であり、それを経営戦略に落とし込むためのフレームワークのことです。
- 私たちセゾン情報システムズは、時代に最適なITサービスの提供を通じて、お客様企業の事業価値創造に貢献すると同時に、社会の課題を解決し、近未来社会の創造に貢献していきます。
- このレポートは、この私たちの活動の全体像を、CSVのフレームを借りて、ステークホルダーの皆様と共有していくため2019年から作成をはじめました。私たちが何を目指し、何に取り組んでいるのか、理解していただくための一助となればと思います。
- 作成にあたっては、様々な分野で個別に進んでいることを、一つの大きなストーリーに位置付けること、それによって、それぞれの活動の目的をより明確に、ご理解いただくことを目指しています。
- さらにご理解いただきますために、「2021年3月期ビジネスレポート」もご一読いただきますようお願いいたします。

2021年6月
セゾン情報システムズ
CSVレポートプロジェクト

私たちは、事業活動 (Product & Service) を通じて、お客様企業の事業価値創造に貢献すると同時に、地域や社会の課題を解決する価値を創造し (Shared Value)、近未来の社会価値の実現 (Mission) と、自分たちの企業価値の向上 (Vision) を目指していきます。
その取り組みの根底にあるのは、私たちの行動規範SISCO* WAYです。「お客様と“伴”に・・・」を原点に、お客様の立場、お客様の目線の先にある生活者や社会、未来のお客様の立場で考え、行動します。

*SISCO: Saison Information Systems Co., Ltd.

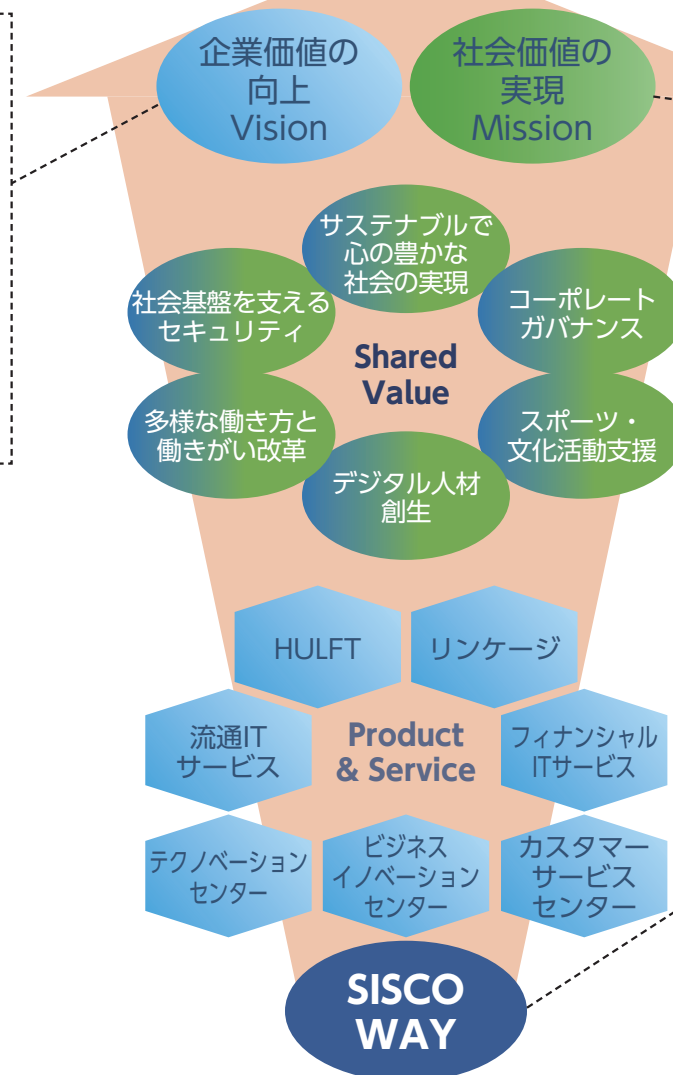
セゾン情報システムズの価値創造ストーリー

目指すべき企業像

- 特定分野において時代の最先端を行き、お客様のビジネス成長・発展に貢献するIT企業
- 独創的かつ高品質な自社製品サービスを送り出すマーケットリーダー
- グローバルで存在感ある稀有な国産ベンダー
- 創造性豊かで、意欲が高く、実行力がある変革リーダーや真の自律人材が溢れ集まる会社

中期ビジョン

カテゴリートップの具現！
～特定分野において、ダントツの存在感を発揮します～



ミッション

当社グループは、生活者向けに利便性、快適性、および心の豊かさを提供する企業に対し、事業維持・成長・拡大に必要不可欠かつ時代環境に適応したITサービスの提供を通じて、イノベーションを加速させ、近未来社会に貢献します。

行動規範 SISCO WAY

～お客様と“伴”に・・・～

- Customer First
お客様、お客様のお客様の立場で考え、行動する
- Keep Your Words
あらゆる関係における信頼とひとり一人の責任
- Timely Communication
ステークホルダーとのタイムリーな情報シェア
- Good Manner (Professional Behavior)
人としての真摯な立ち振る舞い、日々人間力を磨く
- Challenge & Speed
俊敏な自発的、自然的行動による自己革新

Product & Service

各事業部門は、テクノベーションセンターのリードとカスタマーサービスセンターおよびSPPC (Service Product & Planning Committee) の支援を受け、独立事業として、また連携してより統合的なソリューションを提供して、お客様のイノベーションに貢献します。

HULFT (ハルフト)

社会・企業の変化、技術の進化とともに生まれるデータ連携ニーズに対応し、様々なシステムをつなぎ、国内外のお客様のIT環境に最適なデータ連携を実現するソフトウェア製品、サービスを提供します。

リンケージ

当社の強みである「つなぐ」技術の中核に、業務・基幹システムやSaaS等の外部サービスをつなぐことで業務プロセスの変革と見える化を実現し、お客様のデジタルトランスフォーメーション (DX) と経営刷新に貢献します。

流通ITサービス

流通・サービス業界で蓄積されたノウハウを生かし、さまざまな業種・業態におけるお客様ビジネスの課題を特定し、解決するための最適なソリューションを先端技術を駆使して提供します。

フィナンシャルITサービス

クレジットカード会社のシステム開発から運用までを担ってきた実績と先端技術を駆使し、お客様のイノベーションを加速させ、金融業界のDXをリードします。

テクノベーションセンター

自社戦略に即したIT技術を全社に普及・浸透させるため、先端テクノロジーの調査研究、Service DesignおよびUI/UX、モダンインフラの浸透、技術者教育の実施、各事業部門への技術支援を行います。

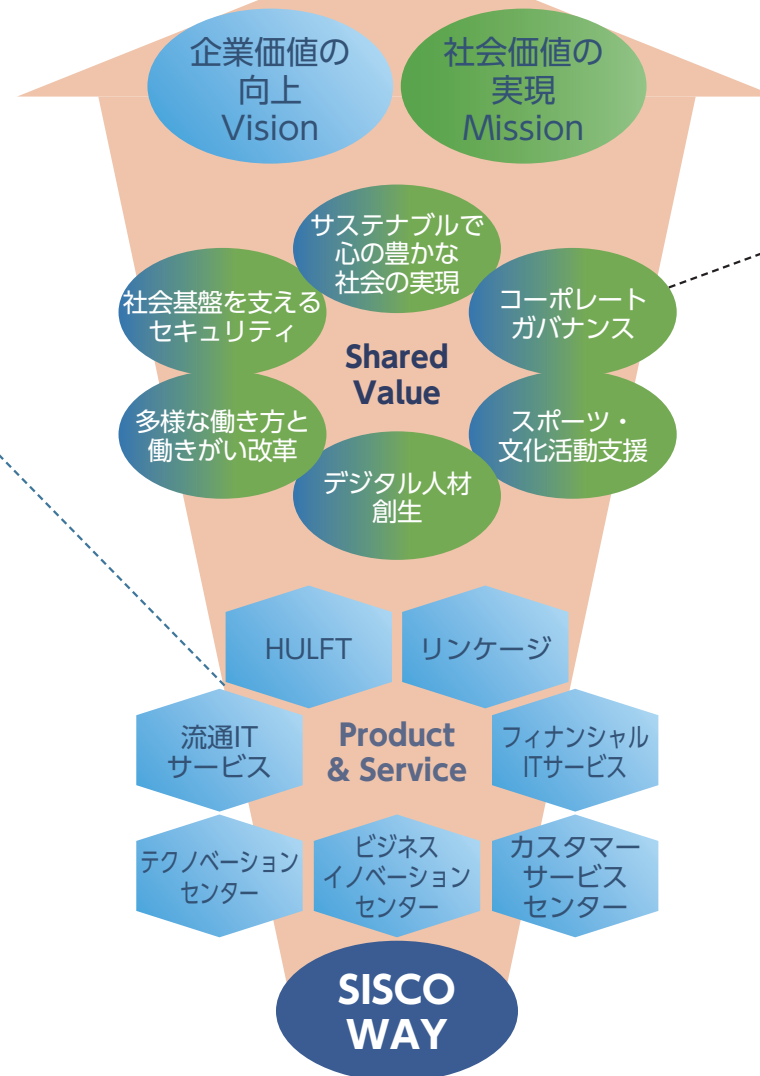
ビジネスイノベーションセンター

クラウド社会に適合した新規サービスをお客様と共創し、グローバルで存在感のある企業として新しい事業を育ててまいります。

カスタマーサービスセンター

ITが経営の基盤として重要度を増すなか、私たちは、お客様の大切なシステム運用および当社が提供する製品サービスサポートを24時間365日、安心・安全に提供します。

セゾン情報システムズの価値創造ストーリー



Shared Value (私たちが創造・共有する価値)

全ての人や企業が、自由自在に安全にデータを活用して新しい価値を創造すること、それによって、すべての人が快適さと心の豊かさを手にできる社会が生まれること、私たちはそれをリードし、サポートしていきます。

- ・私たちは、これまで培った安全なデータ連携・システム構築運用スキルと、多様なデータやソフトウェアを活用して価値を生む最新テクノロジーで、すべての人や企業が、自在に安全にデータを活用し価値を創造するためのITサービスを提供します。
- ・そして、デジタル時代に、すべての人が心の豊かさを手に入れることのできる社会の実現を目指します。

そのため、以下の6領域での価値の創造・向上・共有をテーマとして活動を進めます。

1. サステナブルで心の豊かな社会の実現
2. 社会基盤を支えるセキュリティ
3. 多様な働き方と働きがい改革
4. デジタル人材創生
5. 世界にチャレンジするスポーツ・文化活動支援
6. コーポレートガバナンス

次ページ以降この具体的活動をご紹介します。

サステナブルで心の豊かな社会の実現

私たちが推進するデジタルトランスフォーメーションによって、そして地球や地域社会との共生を目指す活動によって、利便性が高く・快適であり、かつ心の豊かさを得ることのできる社会づくりに貢献します。

時間、場所、人に依存しない働き方の強化

当社は、経理決算、経費精算、購買・調達、契約業務といった、これまでアナログ・紙を必要とし、オフィスでしか行えなかった業務を、対応する様々なクラウドサービスの社内導入により、在宅可能な業務比率を高めております。その結果として、時間、場所、人に依存しない働き方を社員自らが選択可能となっております。

2020年9月、長らく自社のインフラ環境で運用してきた自社開発の購買システムをクラウド型調達・購買システムSAP Aribaに移行し、効率化のほか、統制強化、変化への柔軟な対応、支出の可視化など、ビジネスの将来を考え、3か月強で移行を行いました。さらに、2021年1月には、契約業務合理化（印刷・郵送等のコスト・工数の削減）、事業品質向上（出社なしで事業活動継続可）を目的に、電子契約のクラウドサインを導入しております。

社内システムのクラウド化率
70%
(前年比12P増)

在宅にて可能な業務比率
88.8%
(前年比10.2P増)

社会貢献活動基本方針

2020年4月から、社会貢献活動基本方針を定め、「前事業年度営業利益の1%」を、世界の生活者の生命、健康、飢餓、貧困からの救済活動を行っている団体へ、毎年寄付することとしました。上記活動を持続的に支援することは、当社事業ミッションを遂行する上で必然と考え、今後もビジネスおよび社会貢献活動を行ってまいります。

2021年5月の寄付実績

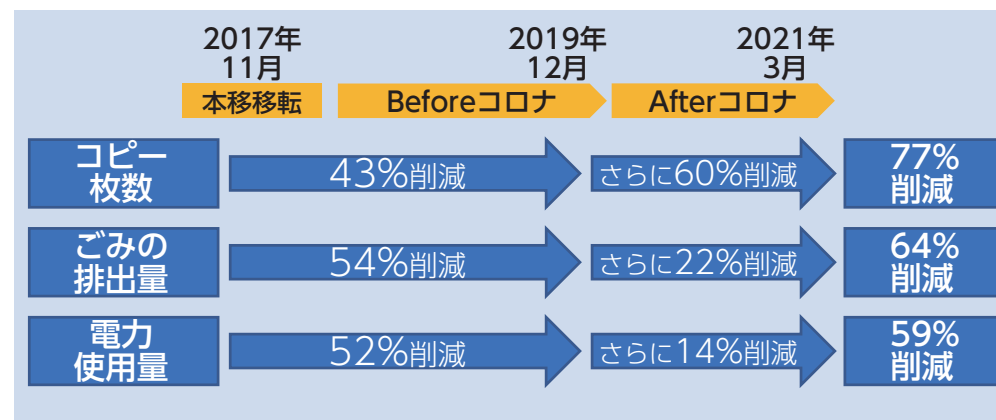
国境なき医師団、国連WFP、日本赤十字、セーブ・ザ・チルドレン、ウォーターエイドジャパン、JCMT海外医師研修事業、沖中記念成人病研究所、当社拠点のある米国（サンマテオ、デトロイト）、シンガポール、タイ、英国における貧困、健康増進の支援寄付基金窓口

営業利益
1%の
社会貢献

(2021年3月期は
29.5百万円)

環境改善を推進

2017年11月に本社を池袋から赤坂へ移転した際、ファイル収納庫の50%を保管書類とともに削減いたしました。これをきっかけにペーパーレス化を加速させ、コピー枚数は移転前の77%減、ごみの排出量も64%減となっております。また人感センサー付きLED照明により、電力使用量も59%削減し、省エネルギーに努めております。



赤城自然園への協賛

赤城自然園は、都会の喧騒から一步離れた群馬県赤城山のふもとに位置し、年間8万人のお客さまがご入場されています。2010年より、クレディセゾン様が「次世代を担うこども達に豊かな自然を引き継ぐ」ため、社会貢献活動のひとつとして赤城自然園の運営をされており、当社もその活動に共感し、12年連続で協賛する形で赤城自然園の発展に携わっております。

2019年秋には、NPO法人「フリースペースたまりば」様の子供たちを赤城自然園にお招きし、当社主催で自然を体験する催しを開催しております。



赤城自然園

社会基盤を支えるセキュリティ

私たちは、お客様に高いレベルのセキュリティを備えたサービスを提供すると同時に、自社内においてもさらにいっそう高いレベルのセキュリティを目指します。そしてお客様が提供する社会基盤を支えるセキュリティのリーダーシップを目指します。

いかなるときもサービスを止めない事業継続体制

2011年の東日本大震災等を経て、いかなるときもサービスを止めない事業継続プログラム(BCP)の重要性が謳われてまいりました。各社、地震や火災等の災害時に業務が止まらないよう、準備が進められております。当社におきましても、データセンターを堅牢にしたり、遠隔地でバックアップがとられるようにするなどサービスが継続されるよう取り組む一方で、帰宅困難な社員が安心して就業できるよう、災害時の備蓄(右下図)などにも取り組んでおります。

このような中、2020年初頭より、新型コロナウイルスによる感染症が世界的に流行し、地震等の災害対策だけでは通用しない事態が継続しております。人の接触を避けるため、人の動きが止まり、そして物流などモノの動きも停滞するという、サプライチェーンが発達したからこそ社会が停滞するという事態を迎えております。

また、当社では、震度5強以上の地震発生時には自動的に安否確認システムが作動し、全社員とご家族の状況確認を行っております。このシステムを活用して、新型コロナウイルスによる初回緊急事態宣言以降は毎朝全社員の健康状態確認を実施しております。

事業継続に欠かせない社員の健康維持・向上

当社では、インフルエンザワクチンを毎年必要数確保し、希望者全員に対して予防接種を実施、感染予防を行っております。また、人間ドックは胃内視鏡検査を推奨し、費用を補助、定期健康診断ではガン検査を必須項目とし、社員の健康維持・向上に努めております。

社員の中には、看護師資格を持つものもあり、緊急時における対応も可能となっております。



医療器具▶



◀水、マスク



◀保存食品

お客様のデータを安全にお預かりするデータセンター

当社では、お客様の個人情報をデータセンターにお預かりしており、常に発達するサイバー攻撃に対して、求められるセキュリティレベルをクリアする設備、体制を整備しております。

■システム開発と連携したセキュリティサービス

当社の運用の特徴は、システムを開発する部門と連携を密にした、お客様業務のあるべき姿を追求する点にあります。あるべき姿に基づく体制、プロセスを構築し、クラウド技術やネットワーク、監視システムのスペシャリスト、運用SE/オペレータが24時間365日体制で「安心、安全、安定」のシステム維持、運用サービスを支えております。

■「マルチクラウド」サービス

データの保管等において、どの会社/個人でもすぐに利用が始められるクラウドサービスが拡大する一方、汎用サービスではカバーしきれない領域も確実に存在します。当社は個別のお客様ごとに、環境構築と運用も含めて提供する従来サービスとクラウドサービスの強みを互いに生かす、「マルチクラウド」サービスの実現に取り組んでおります。

CSIRT(Computer Security Incident Response Team)活動

近年サイバー攻撃の巧妙化が進み、完全に防御することが困難となってきました。このため、セキュリティインシデントが発生することを前提としたセキュリティ対策の実施が求められております。当社では、セキュリティインシデントが発生した場合に被害の局所化と迅速な復旧を行うため全社横断的に活動するCSIRTを今期より立ち上げました。さらなる対応体制強化のため、日本シーサート協議会に加盟予定です。

多様な働き方と働きがい改革

日本の社会、特に情報産業にとって、働き方と働きがいの改革は大きな社会課題です。私たちは、最新のデジタルトランスフォーメーション技術によって生産性を向上させ、働きがいを革新し、働く人の自己実現とワーク・ライフバランスのとれた豊かな社会の実現を目指します。

業務の効率化による生産性の向上

当社は時間、場所、人に依存しない働き方ができる環境整備を推し進めてまいりました。時短勤務(育児・介護の両立)、テレワーク環境のさらなる充実に加え、フレックス勤務のコアタイムを撤廃したスーパーフレックスを導入いたしました。勤務体系、制度、風土の構築と適正な労働時間も実現に努めております。

■生産性・健康指標(社員1人当たり)

* 2021年3月末時点

年間医療費 148千円 (前年比▲11千円)	月間残業時間 平均15.7H (前年比▲6.9H) ※7.5時間/日	休暇取得日数 14.8日 (前年比▲2.6日) ※夏季休暇含む
医療機関通院回数 5回 (前年比▲0.9回)	健康診断要再検査率 15.7% (前年比▲5.2P)	メンタルシック率 0.5% (前年比▲0.6P)

多様な雇用への貢献(SISCOファーム)

当社は、障がい者の雇用を支援する活動の一環として、働き方を支援する農園(SISCOファーム)を千葉県松戸市にて運営しております。同農園で収穫された野菜を子ども食堂などのNPO法人に寄付しており、地域コミュニティへ貢献しております。また新たに、2020年7月1日より、千葉県船橋市において「SISCOファーム II」を開園しております。船橋市の農園は当社にとって、2つ目となり、様々なハンディキャップを抱える方が安心・安全かつ長期的に就労できる環境の整備に努める一方で、自立した生産者として当社が進める社会貢献・CSR活動の一端を担ってもらうことを目的としております。

オフィス環境の改善

ワーク・ライフバランスを推進する一方で、社員が多くの時間を過ごすオフィス環境も重要視しております。各自のデスクをフリーアドレスとするだけでなく、リラックスできる空間で創造力を発揮できるようカフェを用意しております。また多くのメンバーが自由にディスカッションできるようコラボレーションエリアという開かれた打ち合わせスペースを用意することで、各自が自席に縛られたり、会議室という空間にアイデアが閉ざされたりしないよう、オフィスレイアウトを工夫してまいりました。アイデアの「着想」「集約」「錬成」というサイクルを支えるオフィスに進化を遂げております。

昨年からのコロナ禍において、オンライン配信を活用した録画やライブ映像を社内外に向けて積極的に配信しております。これまで会場で行っていたセミナーやイベントは、ほぼすべてオンライン配信に切り替えました。さらにカメラやグリーンバックスクリーン、マイクなどを準備し、撮影および配信を行っております。



【着想】イノベーションエリア 【集約】コラボレーションエリア 【錬成】Deep Think Lab

オンライン配信・セミナー用機材などを準備



SISCOファームとSISCOファーム IIで栽培されている野菜と収穫作業



ファームで収穫されたケールで作った、当社カフェで提供されているグリーンスムージー(中: カフェメニュー)を紹介 YouTubeチャンネル シス☆スタ(総集編)

デジタル人材創生

社内の若手人材に限らず、これからのデジタルテクノロジーをリードする学生をも対象として幅広く、最新テクノロジーの獲得とレベル向上を支援するとともに、少子高齢化の進展により訪れる人材不足社会を見越して、業界の魅力を伝え、デジタル人材を創生していきます。

人材育成・採用を融合し、新たな学びの場を創出

当社では未来の社会環境で活躍できる人材の育成と採用を同時に実現する「Skill Boot Camp」という人材育成・採用手法を取り入れております。2020年度は、今後当社にとって重要な技術領域である「**アジャイル**」、「**クラウド**」、「**データアナリスト**」、「**セキュリティ**」をテーマとして実施いたしました。申込者数441名（学生、社外・社内人材）のうち、12名の社外参加者が当社に入社しております。



BD*スキル向上研修

当社では新規ビジネスを獲得出来る人材の育成とBDの標準化を目的としたスキル向上研修を策定いたしました。今期より、BD標準の実践・浸透に向け、新規ビジネスや顧客を開拓し、自ら考え行動できる人材およびそれを指導できるマネージャーを育成するための研修を開始いたしました。

* BD: Business Development

カテゴリー	実施内容	期待効果
BD道場	OJTを通じたBD能力の開発	BD標準の習得
BD道場 for マネージャー	マネージャー自身が実案件の取り組みを通じてBD活動能力を習得。その後、適切な部下指導を実践出来る能力をロールプレイを通じて開発	BD標準の習得、適切な部下指導スキルの習得
道場フォローアップセッション	道場修了生のモチベーションを維持・向上させ、継続的な自己研鑽とビジネスへの貢献意欲を高めるため、修了後の取り組みについて定期的に報告会を実施	学習の振り返りとBD能力の更なる向上
重点スキル強化研修	BD活動基礎知識を講義形式で実施し、基礎的なBD活動能力を習得	BD能力の向上

滋賀大学・帝国データバンク共同研究センターでDataSpiderを活用

滋賀大学と株式会社帝国データバンクが運営するData Engineering and Machine Learningセンター（以下、DEMLセンター）と共同研究を進めているお客様（鋼材卸売業）が、複数台のトラックによる最適配送ルート設定の効率化を行う、自動化アルゴリズムの構築を実現いたしました。本システムの構築にはDataSpiderを使用してデータ研磨が行われました。当社社員は、本システムの構築にあたって、DEMLセンターで本研究に携わる学生のサポートを行いました。具体的には月1回の定例会を行いDataSpiderを使用したシステム構築のアドバイスをを行っております。

また、Slackを使用して学生の疑問に細やかに回答するなどのサポートを行い、DEMLセンターに参画する前の学生に対して、スムーズにプロジェクトに入れるように、滋賀大学の学生向けにカスタマイズしたDataSpiderの研修を実施しております。

参考データ：

<https://www.ds.shiga-u.ac.jp/news-faculty/p5611/>

<https://www.tdb.co.jp/bigdata/agreement/1029shiga.pdf>

滋賀大学・帝国データバンク共同研究センター：

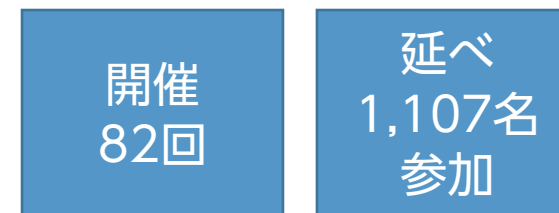
<https://www.ds.shiga-u.ac.jp/DEML/>

技術研修

■技術力強化とオープンイノベーションの推進

当社は、長年にわたり培ってきたノウハウだけではなく、テクノロジーの強化を図るため、技術教育にも積極的に取り組んでおります。テクノベーションセンターを中心に各事業部門への研修や勉強会を実施して技術習得の機会を設けております。こうした継続的な研修を実施した結果、技術資格取得者数の増加や事業部門を横断したプロジェクトが増加し、新しい価値を提供することに繋がっております。

■技術教育の実績（2021年3月期）



社内技術者数（一定レベル以上）

AWS	713名
BlockChain	17名
AI	91名
RPA	50名
UI/UX教育	29名
Azure	166名

※UI/UX研修は、昨年多くの社員に実施した効果が出始めてきており、今年は実プロジェクトに参画し、浸透を深める取り組みをしております。

世界にチャレンジするスポーツ・文化活動支援

私たちが目指す未来は、まさにグローバルのデジタル巨人たちが大きな壁となり立ちあがる領域です。私たちは、彼らと時には競争し、時には協業・連携しながら、日本の情報産業の在り方を模索しております。世界に挑み続ける日本のアスリートを応援し、ともにチャレンジを続けていきたいと考えております。

支援方針

<昨年度からの強化ポイント>

■プロ意識・主体性強化

コロナ禍で拠点が分散された中、プロ意識、主体性を持つことが求められる環境(各自が練習環境を整えること、トレーニングの継続、コンディション管理など)となった為、選手が記録しているデータをもとにチームMTG、選手MTG、マネージャーとの個人MTGを実施し、データとトレーニングの感覚をヒントに、日々のトレーニングに励んでおります。

■個人種目で世界にチャレンジするとともに、将来的には私たちと一緒に世界に挑戦する仲間が集まり、HULFTチームで4×400mリレー種目で“つなぐ”を体現し日本1位を目指しております。

<2020年度主な大会結果>

■第68回全日本実業団対抗選手権

400m 加藤修也選手:46"85 3位

■セイコーゴールデングランプリ陸上2020東京

400m 若林康太選手:47"72 7位

■第7回木南道孝記念陸上競技大会

400m 加藤修也46"26 2位

■Denka Athletics Challenge Cup 2020

400m 加藤修也選手:46"70 3位

小林直己選手:46"98 4位

<選手コメント>

2020年のシーズンはコロナ禍で出場試合数の減少やトレーニング環境の制限がありましたが、選手それぞれのアイデアや工夫によって与えられた環境で出来る事を最大限に引き出す努力をしてきました。それぞれ分散された環境での活動ではありましたが、チームで遠征試合に参戦したり、強化合宿を開催したりとできる範囲で結束を強化してきました。

世界で活躍するHULFTと同じ舞台で戦えるよう、日々トレーニングに励んでいきます。世界トップを目指し邁進するアスリートの熱気を社員の皆さんと共有していければと思います。

小林直己選手および若林康太選手が2021年度のオリンピック強化指定選手として認定を受けました。



(左から若林康太、小林直己、加藤修也)

アスリートダッシュボード開発・運営

体組成計、GPSウォッチなどから収集した選手の生体活動データを、当社の強みである「DataSpider」などでつなぐ技術を使い、自動で可視化できるようにしております。動画解析の技術も活用開始し、周囲の色やランナーの動きを検知することにより、一層精度の高い情報が得られるようになりました。根拠・仮説をもって、データ収集→可視化→分析→改善のサイクル(PDCA)を実行することにより、競技力向上に役立てております。

【収集している主なデータ】

- ・体組成 ・身体バランス
- ・食事やサプリメント
- ・練習メニュー
- ・ピッチやストライド
- ・速度や心拍数



▲動画解析のイメージ

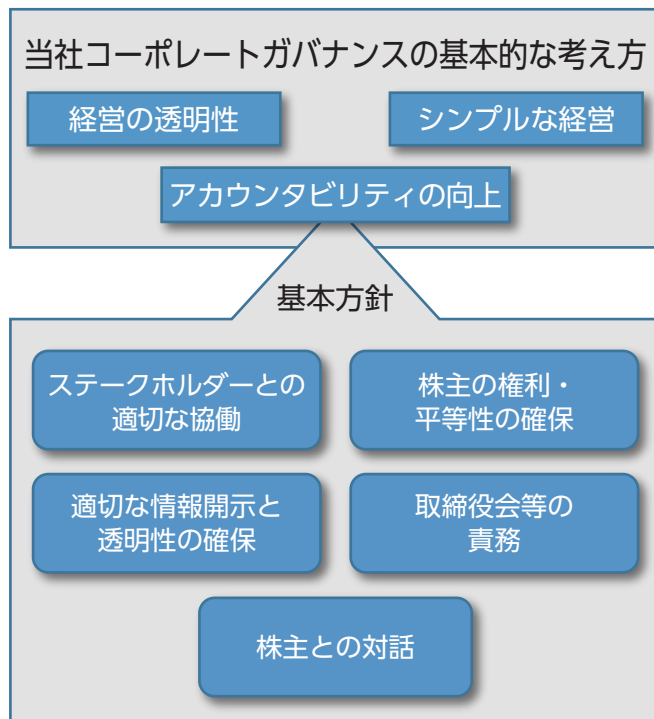
▼ダッシュボードのイメージ



コーポレートガバナンス

「経営の透明性」、「アカウンタビリティの向上」および「シンプルな経営」を基本として、社外取締役・社外監査役を積極的に選任し、透明性の高いガバナンス体制の確立と適時適切な情報開示に取り組んでおります。

基本的な考え方



■ステークホルダーとの適切な協働

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、株主をはじめとした全てのステークホルダーとの協働が必要であることを認識し、役員および社員が当社の行動規範(SISCO WAY)に則り行動するとともに、各種の社会的課題の解決に、お客様と“伴”に積極的に取り組むことで、ステークホルダーから信頼される会社となることを目指します。

■株主の権利・平等性の確保

全ての株主の実質的平等性の確保に配慮するとともに、株主の適切な権利行使に資するべく、ポジティブであるかネガティブであるかを問わず、適時適切に情報を開示し、提供しております。

■適切な情報開示と透明性の確保

法令に基づき、四半期ごとに会社の財政状態、経営成績等の財務情報を開示するとともに、株主をはじめとする全てのステークホルダーにとって重要と判断される非財務情報についても、決算説明会、本CSV Report、ウェブサイト、ニュースリリース等、適時適切な方法で積極的に発信します。

■取締役会等の責務

当社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るべく、企業戦略として原則3年ごとに中期経営計画を策定しております。社外取締役、社外監査役による客観的かつ中立的で、実効性の高い監督体制を構築するなど、業務執行に対する評価・監督を行っております。

■株主との対話

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、当社側からの情報提供のみならず、株主・投資家との意見交換をより一層図るべく、IR体制を強化し、株主や投資家からの取材、会話の申し込みに対し、積極的に応じていきます。

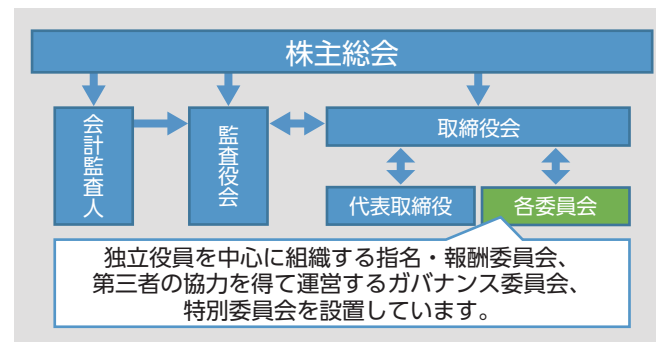
トピックス

■2021年3月期の取り組みをご紹介します。

①社外取締役の取締役会に占める比率が過半数に
当社の取締役会は、過半数を社外取締役が占めております。社外取締役、社外監査役による客観的かつ中立的な意見をもとに取締役会を経ることで、職務執行に対する適正な評価、監督を行っております。

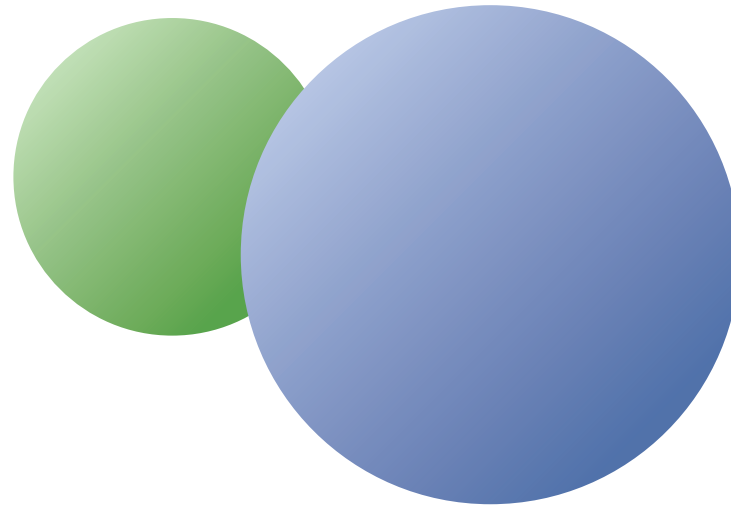
②執行役員制度の拡充

経営と執行の分離、優秀な人材の確保、社員へのキャリア形成の動機付けおよび経営意識の醸成を目的として、執行役員制度を導入しております。2020年4月に導入し、現在は11名の執行役員により業務の執行をしております。
※こちらは会社法で定められた委員会設置会社とは異なり、自社で定めた概念です。



■コンプライアンス・ハンドブックの発行

当社は、グローバル法令及びルールを遵守し、ステークホルダーの信頼に応えるため、安心・安全に事業活動を行なうために特に重要なルールを「コンプライアンス行動規範」として社内向けに発行いたしました。日々の業務におけるコンプライアンス実践のために活用しております。



株式会社 セゾン情報システムズ

<https://home.saison.co.jp/>

・「HULFT」および「DataSpider Servista」は株式会社セゾン情報システムズの登録商標です。
・その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標です。

